

3月14日（金） 津島高校探究発表会 @津島市文化会館

3月14日（金）に、第1回津島高校探究発表会を津島市文化会館にて行いました。

初めての「探究発表会」は、今年度の生徒の探究学習の集大成として、会の進行役であるMCやステージ監督も生徒が行い、「生徒主役の発表会」となりました。

探究発表の前には、大学受験が終わったばかりの3年生に受験体験談をしてもらい、後輩への良き置き土産となりました。

生徒の発表のテーマ

- 1 1年 国際理解コース テーマ：“Support foreign people in Japan.”
「在日外国人の子供たちをどのように支援するか」
- 2 2年 国際理解コース テーマ：“Wasshoi! My wool town”
尾州毛織物で地域再活性化
- 3 2年 普通コース 「総合的な探究の時間」 三菱会懸賞論文 稲葉真弓賞 テーマ：平和
(校内最優秀作品) 題名：平和の中に「生きる」
- 4 1年 普通コース 「総合的な探究の時間」 テーマ：地域探究
(優秀作)「一宮七夕まつりの知名度を上げたい」
- 5 1年 普通コース (優秀作)「津島市の空き家を活用して、地域活性化に役立てたい」

また、ご講評と講演を「東京大学 農学生命科学研究科森林科学専攻風致計画学研究室」の山本清龍准教授にいただきました。講演「ランドスケープ研究へのご招待～人はなぜ風景をまもるのか～」では、先生の大学時代のエピソードや、様々な視点から「風景を守る」ことの是非や理由、風景の変遷についてお話しいただき、文系理系両方ともに興味をわく内容でした。津島高校の存在する天王川公園付近の風致地区や、東京の明治神宮の森、街並みの空間構成など、多岐にわたる内容を取り混ぜていただき、聴衆のそれぞれが自分の興味を持つテーマを見つけることができたのではないのでしょうか。

1年間、津島高校の探究学習にお付き合いいただいた、外部の講師の方々や保護者もご参加いただき、感謝申し上げます。これを機に、毎年探究学習をレベルアップさせ、生徒の主体性を育む津島高校でありたいと思います。

国際探究科主任 大谷暁子







研究の出発点

